

情報基礎実習 第8回 情報検索

2006年6月6日 辻慶太

1. はじめに

仕事や研究で何か答えを考える時はまず、①答えそのもの、②答えに辿り着けそうな情報、がネットで手に入らないか調べた方がよい。大学は考える力を養う所と言われるが、考えないで済むことは考えずに済ませる。本当に考えるべきことを、より多くの情報・より多くの時間を使って考えよう。

<本日の習得事項>

- ・サーチエンジンの細かい使い方
- ・Web 上の辞書の使い方
- ・図書の見つけ方
- ・雑誌論文 //
- ・新聞記事 //
- ・人物情報 //
- ・昔の Web ページ //
- ・映画・音楽など //

<出席>

“■” がついた 25 問をできるだけ解いて、授業の感想を書き加えて印刷・提出しなさい。
(p. 5 のチェックを受けることもお忘れなく)

<課題>

- I. “■” がついた問題の答えを記しなさい。
- II. 関心のあるテーマを 1 つ挙げ、それに関連する (a) 図書, (b) 雑誌論文, (c) 新聞記事, (d) 関連用語について辞書が挙げる定義, (e) Web ページ, の 5 つをなるべく多く挙げなさい。

2. サーチエンジンで各種情報を探す

サーチエンジンでは様々な情報が検索できる。代表的なサーチエンジンとしては Google, Yahoo! がある。以下では Google の検索 Tips を紹介する。Google はトップページよりも「検索オプション」画面 (http://www.google.co.jp/advanced_search?hl=ja) の方が詳細な検索ができるのでそちらを用いること。

(1) リンク切れのサイトが見たい。

→ 検索結果の各項目右下の「キャッシュ」をクリックする。

※Google のキャッシュでは、キーワードが色付きで表示される。膨大なテキストの中で自分が探しているキーワードがどこにあるか分からないという場合は、「編集」→「検索」と探すのもよいが、このキャッシュを使ってしまうと便利。とても便利なのでお勧め。

(2) 言葉の意味を調べたい。

- 日本語の場合：調べたい言葉に「とは」「って何」「というのは」などを添えて、検索オプション画面の「フレーズを含む」に入れて検索する。
- 英語の場合：「define: ~」で検索する。
- それでも分からず、他に方法もない場合は「イメージ検索」で検索し、ヒットした画像を見て何となく判断するという手もある。

例：「RFID」の意味が知りたい。

(3) 同義語が知りたい。

- キーワードに「別名」「ともいう」「通称」「略称」などを添えて検索する。同義語の把握というのは、上手な検索に不可欠な技なのでよく覚えておくこと。

例：「レジオネラ症」の別名が知りたい。

(4) 訳語が知りたい。

- 英語に対する日本語が知りたいときは Google では「英和」をキーワードの前に添えて検索する。日本語に対する英語が知りたいときは「和英」をキーワードの前に添えて検索する。

例：「電子書籍」の訳語が知りたい。

(5) 日本語で外国語のページを検索したい。

- 上記の方法で英訳語を把握し、それを使えば英語のページの検索はできる。だが「それは面倒」とか、英語以外のページが検索したいという場合もある。そういう時は Yahoo! の「翻訳検索」が便利 (<http://honyaku.yahoo.co.jp/search?ei=UTF-8>)。

例：「チャングムの誓い」に関する韓国語のページが見たい。

(6) 筑波大学や2ちゃんねるなど、特定サイトに書かれている情報だけ見たい。

- 検索オプション画面で「ドメイン」を指定する。2ちゃんねるだったら“2ch.net”と入れて検索する。筑波大学だったら“tsukuba.ac.jp”などと入れて検索する（ドメインは一部でよい。www.slis.tsukuba.ac.jp などと全部入れなくてよい）。

例：筑波大学のサイトに書かれている図書館実習に関するページが見たい。

(7) 人が作ったパワーポイントファイルあるいはエクセルファイルが見たい。

- 検索オプション画面で「ファイルタイプ」を「ppt」あるいは「xls」にして検索する。ただしウイルスが付いてくる場合があるので注意。

例：某授業の課題をもっと楽にこなしたい。

(8) 公的機関の報告書を入手したい。

→ 報告書は PDF ファイルなどの形で Web 上に公開されていることが多い。そこで検索オプション画面で「ファイルタイプ」を「pdf」にし、さらに公的機関のドメインを指定する。

例：東京都 (tokyo.jp) の人口に関する報告書が読みたい。

(9) ニュース記事を検索したい。

→ 「Google ニュース」で検索する。

例：村上世彰のインサイダー取引に関するニュースが読みたい。

(10) 対象範囲を blog に絞って検索したい。

→ ブログの検索に関しては Yahoo! の方が Google より上。「ブログを検索」というそのままの機能がある。Google にも <http://blogsearch.google.com/> というのがあるが、まだ日本語は弱い。

例：小泉の靖国参拝について書いているブログが読みたい。

(11) 真面目な議論が読みたい。

→ 「グループ検索」のページで、ニュースグループでの議論を検索する。大学や企業の研究者が多く参加していて、実名で投稿する人も多い。

例：貸与権に関する議論が読みたい。

(12) 英語の正確なスペルが知りたい。

→ 適当に英語を入力し、結果画面の上の方に出る「予想されるキーワード」を見る。

例：“opotunity” の正確なスペルが知りたい。

(13) よりポピュラーな表現が知りたい。

→ 候補語をすべて検索し、ヒット件数が多い方をポピュラーと判断する。

例：「カタルニア」と「カタロニア」はどちらが一般的か知りたい。

(14) 高画質な画像がほしい。

→ 「イメージ検索」の検索オプション画面で、「画像サイズ」を「大」にして検索する。

→ 画像に関しては Yahoo! の方が多少細かく検索条件が指定できるのでそちらを使うのも良い。

例：マッターホルンの壁紙がほしい。

(15) 最適な乗り継ぎ方が知りたい。

→ 「乗車駅から下車駅」あるいは「乗り換え 乗車駅 下車駅」と検索する。例えば「秋葉原から新宿」などとする（ちなみに「つくば」はまだ登録されていないらしい）。

例：御茶ノ水から五反田に行きたい。

(16) ある会社の情報が知りたい。

→ 「会社名 会社情報」で検索する。

例：ANA の会社情報が知りたい。

(17) 駅の近くの店を探し、その評判まで知りたい。

→ Google の「マップ検索」を使い、駅名とジャンルを入れる（「カレー」とか）。検索結果から店を選び「レビュー」を選ぶと評判が読める。Yahoo! の「エリア検索」では店までは分かるが、評判までは分からない。

例：御茶ノ水駅周辺のカレー屋「エチオピア」の評判が知りたい。

(18) Google を電卓として使いたい。

→ 求める計算式をそのまま入力する。Yahoo! でもできるが、Google の方が高度な関数が見える。例えば以下の例では「 $\sin(3\pi) + \log(1000) + e^2$ 」と検索する。

例： $\sin 3\pi + \log(1000) + e^2$ はいくらか？

(19) 単位を変換したい。

→ 「数字 元単位 in 変換先単位」で検索する。例えば以下の例では「911 f in c」と検索する。

例：華氏 911 は摂氏何度か知りたい。

(<http://hp.vector.co.jp/authors/VA013937/google.html> に使用可能な単位表がある)

(20) 漢字の読み方が知りたい。

→ 読める部分をひらがなで入力し、元の語と一緒に検索する。

例：「出口汪」という人の読み方が知りたい。

(21) 英語の穴埋め問題が解きたい。

→ 検索オプション画面の「フレーズを含む」に穴の部分を“*”として入力する。例えば以下の

例だったら “should * the * of this opportunity” などと入れて検索する。

例：次の英語の穴埋め問題が解きたい。

We should () the () of this opportunity.

(22) 何かの評判, 将来, 方法, 売れ行きを知りたい。

→ 評判は「って」、将来は「どうなる」、方法は「するには」、売れ行きは「突破」といった言葉を添えて検索する。

例：筑波大学の評判を知りたい。

年金制度の将来を知りたい。

『大人の計算ドリル』の販売部数を知りたい。

<チェックポイント>

上記の「例」の検索ができるか、TA に3つ確認してもらう。

出席レポートを提出しても、確認を受けていない場合は出席にならないので注意すること。

3. 辞書を使う

現在ではオンラインの辞書が充実しており、そこから各種用語の定義を得ることができる。また効果的な情報検索には同義語・関連語の把握が欠かせないが、辞書からそれらを得ることもできる。

• **JapanKnowledge**

『日本大百科全書』『現代用語の基礎知識』など様々な辞書が引ける。普通は有料だが、筑波大学内からは無料で使える。筑波大学 Tulips の「データベース一覧」(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/portal/dblist.php>) から辿っていくこと)

• **ネットで百科@Home**

(日立デジタル平凡社の『世界大百科事典』を核にした用語検索サイト。様々な用語が引ける。こちらは無料。ただし3分間しか使えない)
<http://ds.hbi.ne.jp/netencyhome/index.html>

• **Wikipedia**

(ボランティアで作成・更新されているフリーの百科事典。執筆もできる。上記の2つと異なり、Wikipedia の各解説ページは Google で検索すれば出てくる。「Wikipedia のページに行っても検索しないと見えない」ということはない)

• **e-Words**

(コンピュータ関連の用語が引ける。 <http://e-words.jp/>)

• **英辞郎 on the Web**

(巨大な英和・和英辞典。英語文献を探す時などに便利。 <http://www.alc.co.jp/>)

- 1) MILF というイスラム武装組織は何という島で主に活動しているか？
(JapanKnowledge を使うこと)
- 2) 不忍文庫が明治維新後、委託された先はどこか？ (ネットで百科@Home を使うこと)

4. 図書を探す

体系的な知識は図書から得るのが効率的である。サーチエンジンや各種辞書類で適切な検索語を把握したら、以下のサイトで検索する。

- ・ Webcap Plus

(国立情報学研究所の総合目録・書誌データベース。全国の大学・短大・高専の図書館が所蔵する和書・洋書を一括して検索することができる。また大学図書館にない本でも Book データベースに入っている本ならヒットする。各本の目次内容と、腰帯(本の下4分の1くらいに付いている広告用の紙)に書かれた内容も分かる。

著者名や出版者、出版年を指定したい時は青い画面の「一致検索」の方を用いる。漠然とテーマだけがある場合はオレンジ画面の「連想検索」の方を用いると良い。連想検索にはレバンスフィードバック機能があり、Webcap Plus の特徴の一つとなっている(下図参照)

- ・ 国立国会図書館 NDL-OPAC

(1948 年以降に納本・整理された和図書、1986 年以降の洋書約 90 万冊が検索できる。新刊書がデータに加わるのは遅いが、一般に網羅性は高い)

- ・ 日本書籍総目録 (Books.or.jp)

(現在書店などで入手できる図書のデータベース。「日本書籍総目録」の Web 版)

- ・ Google Book Search

(スタンフォード大学やミシガン大学などの図書館蔵書をスキャナで電子化し、全文を検索・閲覧できるようにした超画期的なサービス。頑張れば図書館に行かずに本 1 冊読むことも可能) http://books.google.com/advanced_book_search

- ・ 青空文庫

(芥川龍之介など著作権が切れた小説の原文が読める) <http://www.aozora.gr.jp/>

- 3) 『情報基盤としての図書館』という図書の第 2 章のタイトルは何か？
- 4) 『計量情報学：図書館／言語研究への応用』という本を持っている大学・短大・高専図書館は全部で何館か？
- 5) 同じく William F. Birdsall の *The Myth of the Electronic Library* という洋書は何館が持っているか？

- 6) タイトルが「ユダ」という語で始まり、腰帯に「渾身のノンフィクション」と入っている本の著者は誰か？（腰帯を検索する時は「一致検索」の「キーワード」窓を用いること）
- 7) Webcap Plus の「一致検索」と、NDL-OPAC で澤田昭夫の著作を検索し、ヒットした本達にどのような違いがあるか述べてよ。
- 8) 岩波書店が出版した長尾真の本のうち、今でも書店などで購入できる本は何冊か？
- 9) 書籍館 (Shojakukan) に関する記述がある洋書のタイトルを1つ挙げよ (Google Book Search を使う。ちなみに全文を読むにはユーザ登録が必要だが、無料なので是非やってみること)。

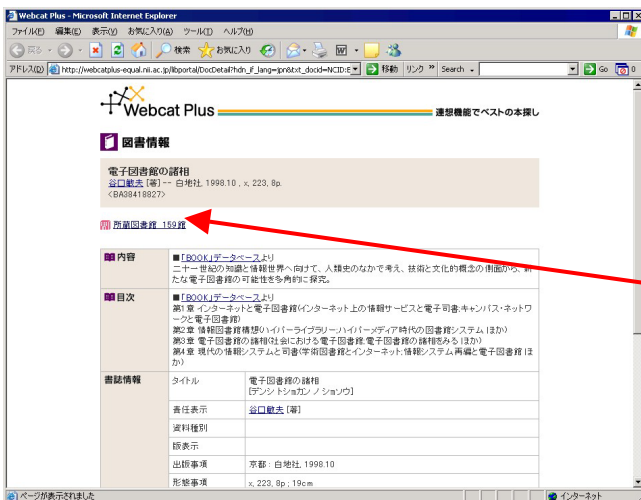


Webcap Plus

「電子図書館」と入れて、「検索」をクリックする。

『電子図書館の諸相』が3番目にヒットした。これをクリックすると次の画面が出る。

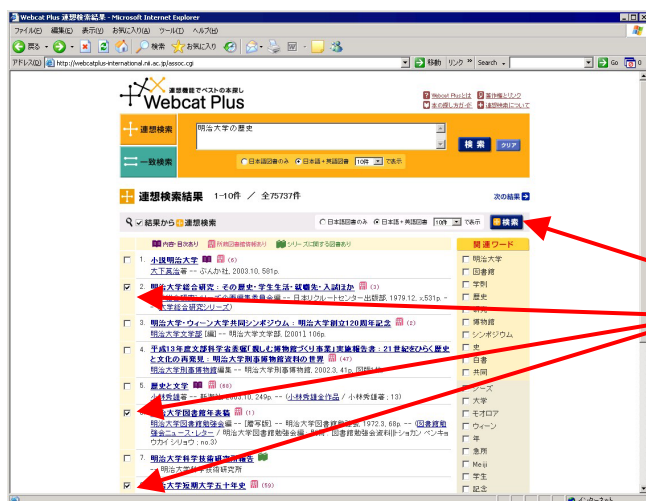
<http://webcapplus-international.nii.ac.jp/>



このような画面が出る。

「内容」には腰帯の文章が記されている。また「目次」にはその本の目次内容が記されている。

さらにここをクリックすると、『電子図書館の諸相』を持っている全国の大学図書館が表示される。



検索システムとしての Webcat Plus のおもしろい点は、レバンスフィードバックを実現している点である。

例えば明治大学の歴史に関する本を探している場合、「明治大学の歴史」と入力して1回検索する。次にそれらしい本にチェックを入れて、右上の「検索」ボタンを押す。そうするとチェックした本に似た本がヒットする。

5. 雑誌論文を探す

先端的な学術情報は雑誌論文に現れる。卒業論文やレポートではこれらを主に引用することになるので探し方をよく覚えておくこと。

<日本語の論文>

- CiNii

(国立情報学研究所が 2005 年 4 月 1 日から開始した日本の雑誌論文検索サービス。検索結果画面の各レコード左下に「本文リンク等」がある場合はそれをクリックすることで全文が見られる。同じく各レコード右下の“citings”をクリックすることで、その論文を引用している論文を見つけることができる。収録データとしては以下の国会図書館雑誌記事索引を含むことになっているが、同じ検索語で結果が異なる場合があるので、この CiNii と雑誌記事索引の両方を調べた方がよい)

- 国立国会図書館雑誌記事索引

(日本の雑誌記事が検索できる。書誌事項が分かるだけで全文を見ることはできない。古い文献の場合、検索画面上部で刊行年を指定しなければいけないことに注意)

- NII-REO

(国立情報学研究所の電子ジャーナルリポジトリ。先週、Springer と Oxford University Press の雑誌が加わり日本最大になったらしい。論文全文が読めるが筑波大学からはまだ読めない)
<http://reo.nii.ac.jp/journal/HtmlIndicate/html/index.html>

<英語の論文>

- Google Scholar

(Google が 2004 年 11 月 18 日から開始した英語の学術文献検索サービス。全文が読める場合が多い。また検索結果画面で各レコード左下の“Cited by”をクリックすることで、その

論文を引用している論文を見つけることができる)

• **Web of Science**

(**Social Sciences Citation Index** など自然・人文・社会科学の論文が幅広く検索できる。今では一般的になったが、引用検索(引用をたどって文献を見つけること)といえはかつては **Science Citation Index** の代名詞だった。筑波大学 **Tulips** からたどれる)

• **ScienceDirect**

(エルゼビア社などの科学・技術・医学分野の雑誌論文 700 万件が検索できる。1997 年サービス開始。全文閲覧は有料。筑波大学 **Tulips** からたどれる)

• **LISA**

(図書館情報学の英語論文が検索できる。筑波大学 **Tulips** からたどれる)

• **ERIC (Education Resources Information Center)**

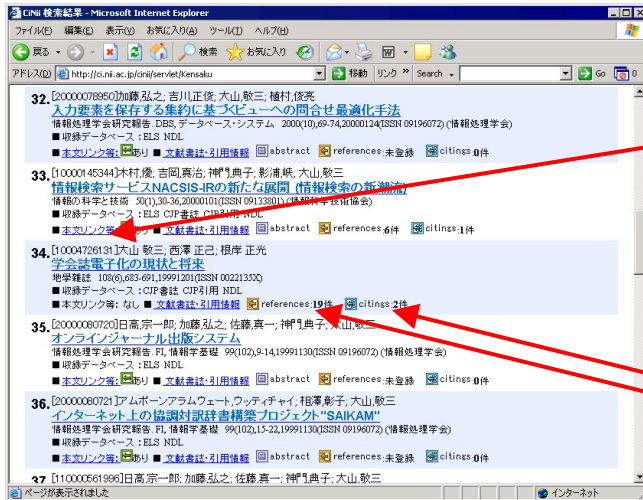
(教育学関係の英語論文が検索できる。図書館情報学の文献もヒットする。筑波大学 **Tulips** からたどれる)

• **ACM Digital Library**

(**Association for Computing Machinery** のデータベースサービス。コンピュータ科学に関する文献が検索できる。有料で全文を見ることができる)

<http://portal.acm.org/portal.cfm>

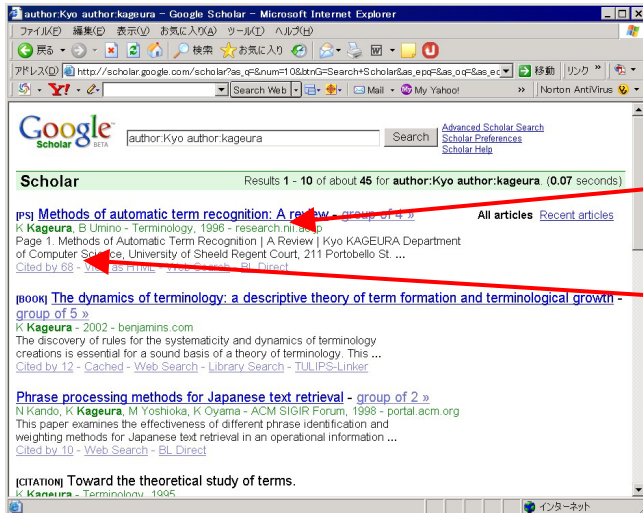
- 10) 辻慶太の「重要な専門用語となる新語の特定・予測」という論文の第2章のタイトルは何か?
- 11) 小野寺夏生先生の「引用文献数で研究を評価できるか?」という論文を引用している論文の第一著者は誰か? (CiNii を用いること)
- 12) 検索では表記の揺れに注意しなければならない。CiNii で「論文名」に「出版差止め」と入れた場合と「出版差止め」と入れた場合とで結果が異なることを確認せよ。また「インターフェイス」と入れた場合と「インターフェース」と入れた場合それぞれのヒット件数を記せ。
- 13) 「アメリカ市政参考図書館の歴史」という論文を書いた人は誰か? (国会図書館の雑誌記事索引を用いること)
- 14) “Evidence-based Librarianship: An Overview” という論文を引用している論文のうち、タイトルが “Developing” という語で始まる論文の第一著者は誰か? (Google Scholar を用いること。Web of Science では出てこない)
- 15) “Digital Reference Services: Framework for Analysis and Evaluation” という論文を引用している論文のうち、タイトルが “Common” という語で始まる論文の著者は誰か? (Web of Science を用いること)



CiNii で「著者名」を「大山敬三」として検索した結果の2ページ目。

各レコード左下の「本文リンク等」が青くなっているものは、直接本文が読める。ただし無料のものと有料のものがある。有料のものはIDとパスワードを入力する。

各レコード右下の“references”はその論文が引用している論文のうちCiNiiに記載されているものの数を表す。“citings”は逆に、その論文を引用している論文の数を表す。クリックするとそれらが表示される。



Google Scholar で“Author”を“Kageura Kyo”として検索した結果。

タイトルをクリックすると本文が読める。

“Cited by”をクリックすると、この論文を引用している論文が出てくる。

6. 新聞記事を探す

- ・ 聞蔵II ビジュアル
 (朝日新聞の記事が検索できる。Tulips からログインする。昔の記事も検索する時は「発行日」を「全期間」にすること)
- ・ 日経テレコン 21
 (日経新聞の記事に加え、企業情報・人物情報なども検索できる。現在最もよく使われているデータベース・サービス。Tulips から辿ること)
- ・ Google News
 (新聞社の Web サイトなど 610 のニュース情報源から記事を集めて検索できるようにしてい

る。英語版では 4,500 のニュース情報源。無料) <http://news.google.com/>

- 16) 再販制度の当面存続を公取委が発表したのは何年何月何日か? (聞蔵Ⅱを使うこと)
- 17) 日経新聞に「公立図書館なぜ増える?」というタイトルの記事が載ったのは何年何月何日か?

7. 人物情報を探す

- ・日経テレコン 21
(企業人の検索ならこれが一番手っ取り早い。Tulips からログインして「人事検索」を使う)
- ・ReaD
(研究開発支援総合ディレクトリ: 日本の研究者情報が検索できる)
- ・JapanKnowledge
(「日本人名大辞典」などが引ける。Tulips から迎れる)
- ・Yahoo!
(「日本タレント名鑑」の芸能人 7,000 人のプロフィールや公式 HP が検索できる。例えばトップページで「阿部サダヲ」と検索すると、四角で囲まれて写真付きプロフィールが出る)

- 18) 筑波大学出身・茨城県出身で現在東京都内のサービス業に勤めている人を挙げよ (日経テレコン 21 を使うこと)
- 19) 緑川信之先生の生年月と出身大学は?

8. 昔のホームページを探す

- ・Internet Archive
(1996 年にアメリカで始まり、世界中のホームページを集めている。NPO によって運営されている。以下のように、昔の情報を集めるとき非常に役立つ) <http://www.archive.org/>
- 20) 2001 年 8 月時点での Tully's Coffee (<http://www.tullys.co.jp/>) の店舗数はいくつだったか?
- 21) 2001 年 (2002 年ではない) 8 月時点での日本図書館情報学会 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>) の事務局長は誰だったか?



9. その他

- Allcinema Online
(和洋映画データベース。あらすじや評判(「ユーザーコメント」を辿る)も分かる)
<http://www.allcinema.net/prog/index2.php>
- 日本映画データベース
(1899年からの日本映画約34,000本が検索可能)
<http://www.jmdb.ne.jp>
- テレビドラマデータベース
(日本の1940年代から今までのテレビドラマが検索できる)
<http://www.tvdrama-db.com/>
- 音楽の森データベース
(JASRACとRIAJのデータベースを統合。210万曲の検索が可能)
<http://www.minc.gr.jp/db/index.html>

- 22) 図書館の自由で取り上げられる「凶水系」というテレビドラマの主演は誰だったか?
- 23) 映画「七人の侍」で流鏑馬の技術指導をした人は誰か。
- 24) 映画「ダ・ヴィンチ・コード」に関して、Allcinema Onlineに「おもしろかったですよ、普通に」というタイトルのユーザーコメントを寄せた投稿者は?
- 25) 「103」という曲を作って歌った日本人は誰か?